

Resona
Sustainability
Challenge 2030

りそな Today



第19期 りそなグループ 中間報告書
(2019年4月1日～2019年9月30日)

INDEX

Top Message	02	少子高齢化	10	グループ銀行・銀行持株会社の概況／株式の状況	18
外部評価	03	環境／人権	11	株式事務のご案内／個人情報のお取り扱い	20
価値創造モデル	04	りそなグループの業績	12	りそなの株主優待	22
地域	06	財務諸表／連結	16	りそな株主セミナー開催のお知らせ	裏表紙

Resona
Premium Meeting

りそな株主セミナー

詳しくは裏表紙をご覧ください



株式会社 **りそなホールディングス**

「リテールNo.1」の実現に向けて

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、度重なる自然災害により被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

当期の親会社株主に帰属する中間純利益は769億円と、概ね中間期目標(760億円)に対し計画通りの進捗となりました。低金利環境下で預貸金利益は減少したものの概ね計画通りに進捗、一方で、債券関係損益は計画を上回る実績となりました。経費は、引き続きローコストオペレーションに取り組み、前年比、計画比ともに改善しました。

なお、2019年9月末の不良債権比率は1.13%、自己資本比率は11.20%と、引き続き健全な水準を維持しています。

中間配当は、期初予想通り、前年度と同水準となる普通株式1株当たり10.5円とさせて頂きました。また、本年6月に、約100億円の自己株式の取得を完了しました。引き続き、株主さまへの還元拡充に努めてまいります。

2019年度は中期経営計画の最終年度となります。「りそなグループアプリ」や「りそなキャッシュレス・プラットフォーム」等の新商品ラインアップの拡充に加え、2019年10月にはグループの関西みらい銀行のシステム統合を実施、りそなの先進的なサービスを、より多くのお客さまにご提供することが可能となりました。「リテールNo.1」の実現に向け、引き続き幅広いお客さまに「いつでも」「どこでも」最適なソリューションのご提供を通じて、企業価値の最大化に努めてまいります。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



株式会社りそなホールディングス
取締役兼代表執行役社長

東 和浩

「リテールNo.1」を目指すりそなの取り組みは、外部からも評価をいただいています。

※2019年10月末現在



R&Iファンド大賞2019^(※1)
https://www.r-i.co.jp/investment/fund_award/index.html



マーサーMPA (JAPAN) アワード2019^(※1)
<https://www.mercer.co.jp/newsroom/2019-mpa-awards.html>



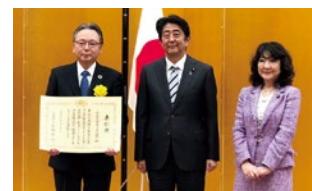
プラチナくるみん^(※2)



PRIDE指標2019^(※3)
ゴールド



準なでしこ^(※3)



女性が輝く先進企業2018
内閣総理大臣表彰受賞^(※4)



21世紀金融行動原則
2018年度 環境大臣賞受賞^(※3)



第2回 大阪府男女いきいき事業者表彰
男女いきいき大賞^(※1)



Gomez IRサイト
ランキング^(※3)

※1 りそな銀行 ※2 埼玉りそな銀行・みなと銀行 ※3 りそなホールディングス ※4 埼玉りそな銀行 ※5 確定給付年金 国内中小型株式部門 小型株(集中投資)株式OZ
※6 確定給付年金 国内債券部門(3年)クレジット・スプレッド/公社債OQ

ESG指数^(※3)

GPIFが選定したESG4指数すべてに採用



FTSE Blossom
Japan Index



MSCI日本株女性活躍指数(WIN)^(※a)



MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数^(※a)



S&P/JPXカーボン
エフィシエント
指数



MSCI ESG Leaders Indexes^(※a)



SNAM
サステナビリティ・
インデックス

※a... THE INCLUSION OF RESONA HOLDINGS, INC. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF RESONA HOLDINGS, INC. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

価値創造モデル

りそなグループは、りそなの強みを活かしながら、本業である金融サービスを通じて社会課題を解決し、お客さま価値を創造します。「お客さまの喜びがりそなの喜び」という基本姿勢のもと、地域のお客さまからもっとも支持され、ともに未来へ歩み続ける「リテールNo.1」の金融サービスグループの実現を目指して、企業価値の最大化に努めていきます。

オムニ・チャネル戦略

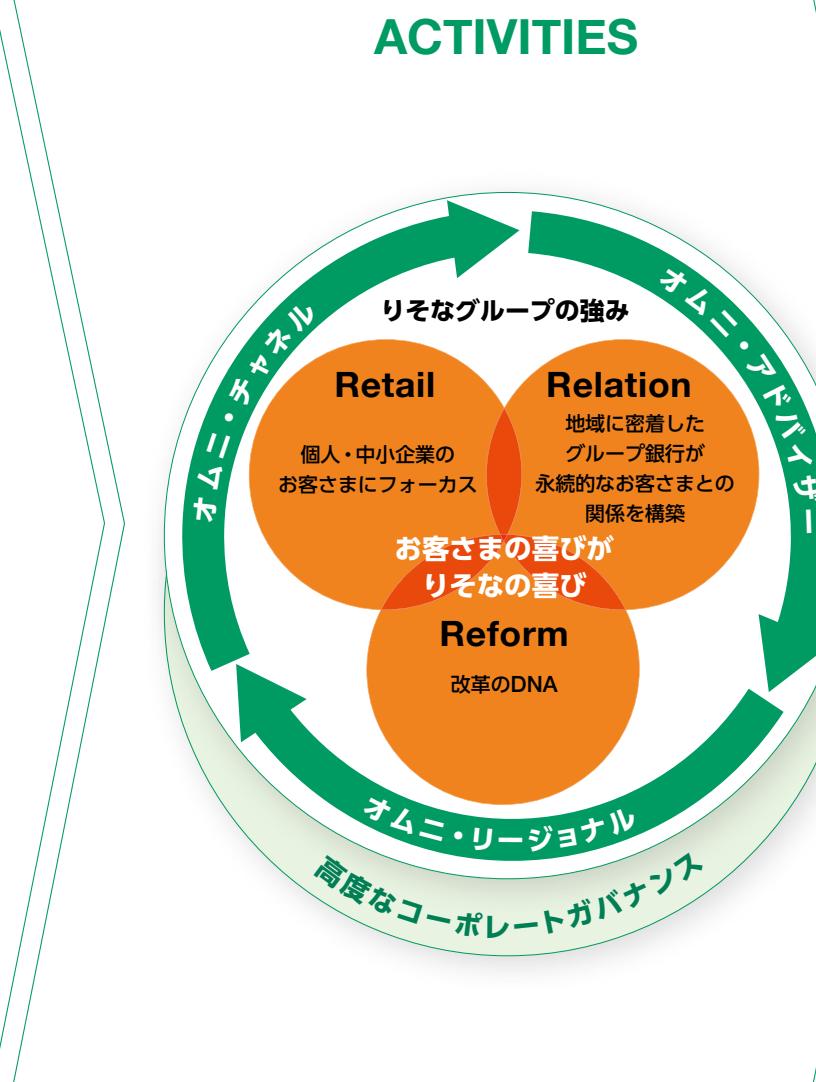
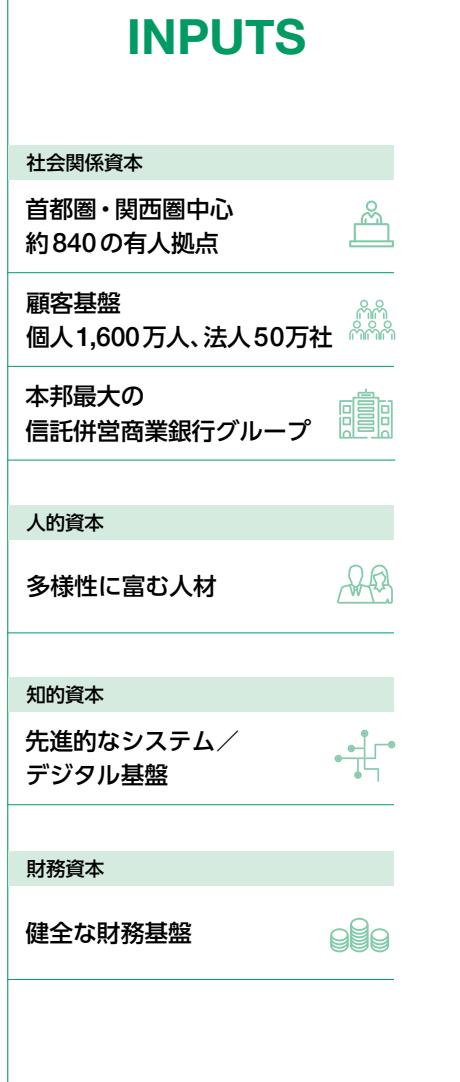
ネットとリアルそれぞれのチャネルを強化し融合させることで、より多くのお客さまに最適なソリューションを提供

オムニ・アドバイザー戦略

お客さまになりきる力を備えたソリューション人材を育成

オムニ・リージョナル戦略

地域金融機関やフィンテック企業などの幅広い連携を通じ、より多くのお客さまに新たな価値を提供



社会へ還元

リテール
No.1
の実現



リアルチャネル・ネットチャネルの強化で 「いつでも」「どこでも」最適なソリューションを



年中無休の **いつでも** 
相談特化型店舗は30拠点に※

休日のお買い物ついでや会社帰りにお気軽にご相談いただける年中無休店舗「セブンデイズプラザ」拠点を拡大しています。2019年8月に吉祥寺、茨木西、千里中央、西宮北口を新たにオープンしました。

※2019年9月末現在。拠点により営業日・営業時間は異なります。

「りそなグループアプリ」 **どこでも**
1年半で150万ダウンロード達成

シンプルな画面デザインと操作性にこだわって機能向上に取り組んでいます。

※2019年9月末現在。



幅広い連携で高度なソリューション機能の提供を



▲ビジネスプラザびわこ

ビジネスプラザ「こうべ」「びわこ」
2019年10月オープン



▲ビジネスプラザこうべ

地域社会が抱える様々な課題を解決し、新たなビジネスへと発展させていくための拠点として、グループ共通のプラットフォーム「ビジネスプラザ」を設置。全国の5拠点で地域をまたいだサービスを提供します。



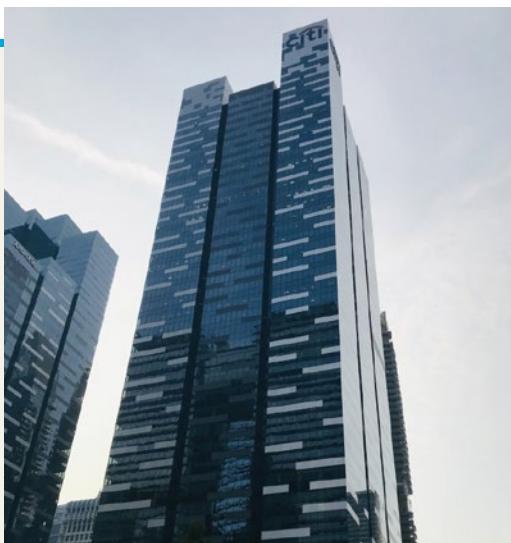
「りそなキャッシュレス・プラットフォーム」
導入予定店舗数は約11千店舗※に

フィンテック企業と提携した先進的な決済機能の提供を通じて、社会や暮らしの利便性向上に貢献しています。

※2019年10月末現在の予定店舗数。



お客さまの海外進出のサポートを



りそなマーチャントバンクアジア (RMBA)、事業規模を拡大

RMBAでは、ASEAN各地域及び香港、インド等へ進出する日系中小企業をサポートしています。2019年8月に、財務基盤を一層強化し、対応力を高めるため100億円の増資を実施いたしました。今後、融資やM&A仲介など、ソリューション提供を更に強化していきます。

りそなプルダニア銀行、横浜銀行・大同生命とお客さま交流会を開催

国際ビジネス分野で業務提携をしている横浜銀行と大同生命を、りそなプルダニア銀行の株主として迎えて初めてのお客さま交流会を2019年9月にインドネシアで開催しました。今後、国際部門同士の連携を深め、サービス向上に努めると共に、お客さま基盤の拡充を図ってまいります。



お客さまとともに持続可能な社会の実現を



「りそな/埼玉りそなSDGsコンサルファンド」第二弾取扱開始

当商品をご利用されたお客さまに対して、SDGsに関する無料コンサルティングを行います。2019年8月に開始した第二弾ではコンサルティングメニューを1種類から3種類に拡充。多様化する中堅・中小企業の皆さまのSDGsに関するお悩みにお応えしていきます。

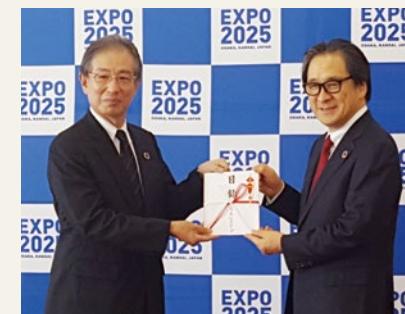
◀コンサルティングの様子

「SDGs推進私募債」取扱発行額は2,110億円※へ

私募債の収益の一部を活用したSDGs関連団体への寄付により、様々な社会貢献事業が実現しています。

- SDGs副教材の作成・配布(公益財団法人日本ユニセフ協会)
- ひとり親家庭向けスポーツ教室の開催(一般社団法人アスリートソサエティ)
- 留学生向け奨学金の給付(国際連合大学)

※2019年10月末現在。前身商品「全国版CSR私募債」を含む。



▲公益社団法人2025年日本国際博覧会協会への寄付金贈呈



少子高齢化に起因する
将来不安の解消

SDGs関連投資を通じて次世代への教育機会の提供を

寄付プロジェクト「みらいE-us(イーアス)プロジェクト」をスタート

SDGsに関連する投資信託に投資していただくことを通じて、お客さまの資産の成長とその先にある未来社会への貢献を同時に実現していく仕組みです。2019年10月より、<対象投資信託>の収益の一部を「りそな未来財団」と「みなと銀行育英会」に寄付をします。その資金を両財団が奨学金等として高校生ならびに大学生に給付を行うことで、学ぶ意欲がありながらも、経済的課題を抱えている学生をサポート致します。

<対象投資信託>※



みんな(子供~大人)が
教育を受けられる未来へ



奨学金等の
原資として
寄付



人生100年時代を
健康に生きる未来へ



社会的な課題が改善され、
企業も社会も成長する未来へ



公益財団法人
りそな未来財団

学ぶ意欲のある子供たちが、置かれた経済状況に左右されることがなく能力を発揮できるよう、次世代を担う高校生に奨学金を給付しています。

奨学金給付実績 (各奨学生には2年間給付)

年度	採用人数	年間総給付額
2016年度	37名	6百万円
2017年度	52名	16百万円
2018年度	45名	17百万円
2019年度	45名	16百万円 (予定)

公益財団法人
みなと銀行育英会

兵庫県の大学に通学されている学生で、経済的理由により、修学が困難な方に、支援を行っています。

※2019年11月末現在の対象投資信託です。取り扱いには各銀行により異なります。詳細は店頭窓口までお問い合わせください。



地球温暖化・
気候変動への対応

気候変動・環境課題の解決を

「りそなの絆～被災地植樹プロジェクト」の実施

東日本大震災で被害を受けた地域の海岸防災林再生プロジェクト「りそなの絆～被災地植樹プロジェクト～」を2019年9月に開催し、従業員とその家族125名が参加しました。自然災害に対する被災地ボランティア等、従業員の自発的な取り組みを今後もサポートしていきます。



ダイバーシティ&
インクルージョン

誰もがいきいきと活躍できる社会の実現を

東京・大阪のレインボーパレードに参加

性的マイノリティへの理解を呼びかける啓発イベント「東京レインボープライド2019」「レインボーフェスタ!2019」のパレードに参加しました。この他LGBTに関する研修の実施等、人権尊重に向けた取り組みが評価され、2019年10月、3年連続で「PRIDE指標」最高評価のゴールドを受賞しました。



親会社株主に帰属する中間純利益は、769億円となりました。

前期に計上した関西みらいフィナンシャルグループ統合に伴う一時利益の剥落を主因に減益となりましたが、中間期目標対比では概ね計画に沿った進捗となりました。

■ 損益の状況 (りそなホールディングス連結)

	2018年9月期 (A)	2019年9月期 (B)	前年同期比 (B)-(A)
業務粗利益	3,368	3,315	△53
資金利益* ^a	2,220	2,163	△57
信託報酬	96	93	△3
役員取引等利益* ^b	903	887	△16
その他業務粗利益	147	171	+23
経費(除く銀行臨時処理分)	△2,111	△2,082	+29
実質業務純益* ^c	1,275	1,235	△40
株式等関係損益(先物込)	27	32	+5
与信費用* ^d	51	△103	△154
その他損益等	252	△41	△294
税金等調整前中間純利益	1,607	1,122	△484
法人税等合計	△342	△306	+35
非支配株主に帰属する中間純利益	△43	△46	△2
親会社株主に帰属する中間純利益	1,221	769	△451

貸出金残高は増加基調を維持、利鞘の低下幅は縮小し、概ね計画通りの着地となりました。

債券関係損益が回復しました。

デジタル化の進展により、経費は改善しました。

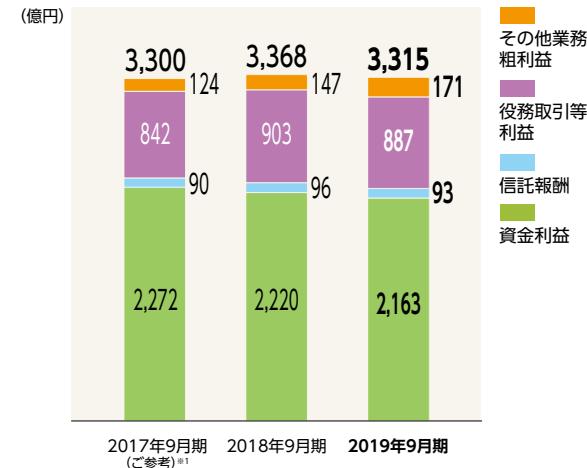
前期戻り益反動減および予防的引当等により与信費用が増加しました。

関西みらいフィナンシャルグループ統合に伴う一時利益といった特殊要因が剥落しました。

用語解説

- ※a 資金利益 貸出や有価証券運用などによる資金運用収益から、預金利息などの資金調達費用を差し引いた収支のことです。
- ※b 役員取引等利益 投資信託の販売やお振込、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまからいただく手数料収入のことです。
- ※c 実質業務純益 業務粗利益(除く信託勘定不良債権処理額)から、経費(除く銀行臨時処理分)を引くなどしたものです。
- ※d 与信費用 貸出金などに対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。
- ※e 経費率 業務粗利益に占める経費(除く銀行臨時処理分)の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

■ 業務粗利益

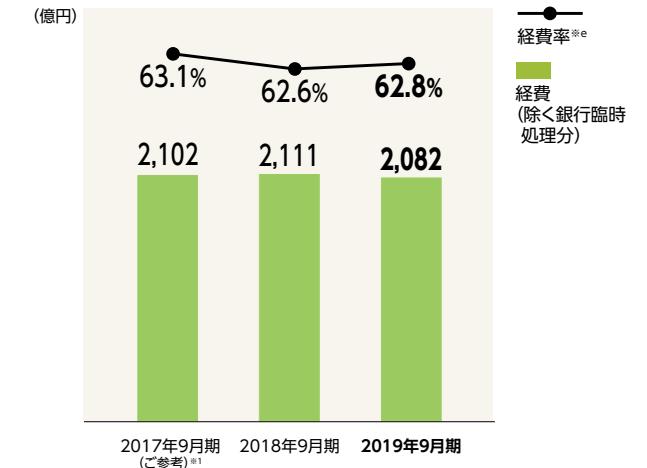


■ 親会社株主に帰属する中間純利益

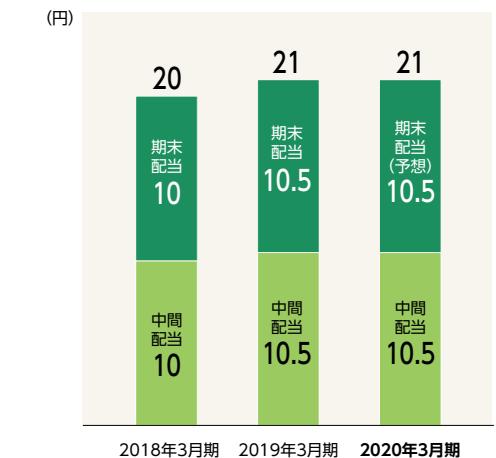


※1 りそなホールディングス、旧関西アーバン銀行及びびみなと銀行の各連結計数を合計しています。なお、「非支配株主に帰属する中間純利益」において、旧関西アーバン銀行、旧近畿大阪銀行及びびみなと銀行の各連結の非支配株主持分(48.8%)を調整しています。

■ 経費(除く銀行臨時処理分)



■ 普通株式1株当たり配当金



資産・負債の状況

貸出金残高は引き続き堅調に推移、不良債権比率、自己資本比率は健全な水準を維持しています。

■貸出金残高 (グループ銀行合算)

住宅ローンが全体を牽引、前年同月比約3,000億円の増加となりました。



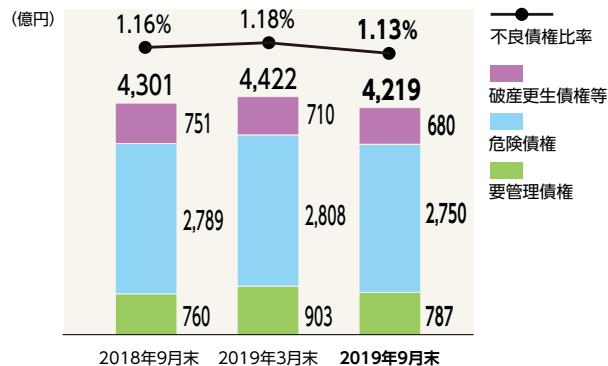
■預金残高 (グループ銀行合算)

預金残高は、増加基調が継続しています。



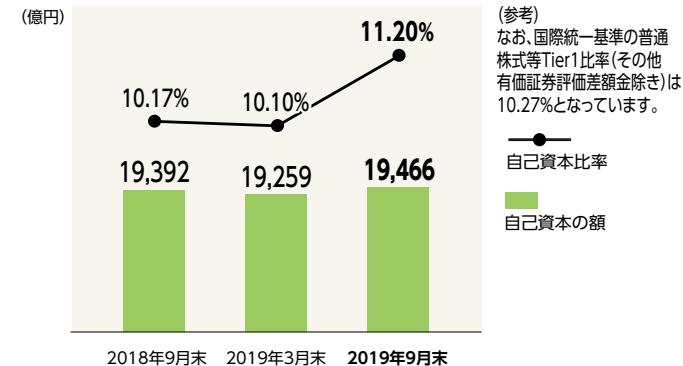
■不良債権および不良債権比率 (グループ銀行合算・金融再生法基準)

不良債権比率は1.13%と引き続き健全な水準を維持しています。



■自己資本比率 (りそなホールディングス連結)

自己資本比率(国内基準)は11.20%と、引き続き健全な水準を維持しています。



主要ビジネス

個人のお客さま向けのトータルライフソリューション、法人のお客さま向けの成長・再生・承継ソリューションに取り組んでいます。

■住宅ローン残高 (グループ銀行合算)

独自の住宅ローン商品が好調に推移し、自己居住用住宅ローン残高は増加傾向を維持しています。



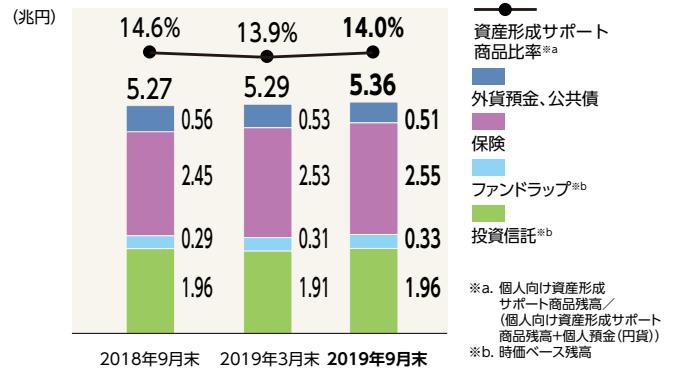
■承継信託新規利用件数 (グループ銀行合算)

高まる承継ニーズにグループで木目細かく対応しています。



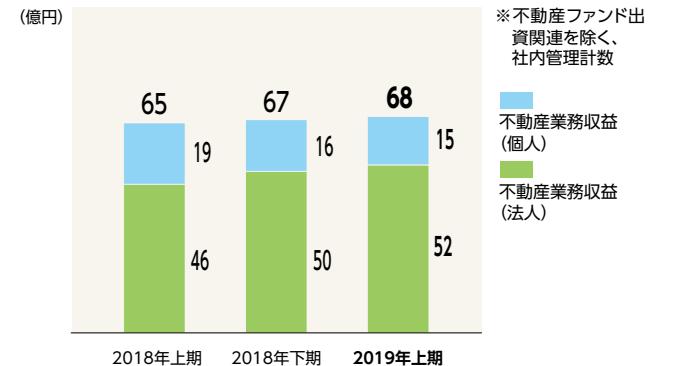
■個人向け資産形成サポート商品残高 (グループ銀行合算)

中長期的な資産形成に資する商品ラインアップの拡充に努めました。



■不動産業務 (グループ銀行合算)

法人のお客さまへの不動産ソリューションのご提案が増加し、全体を牽引しています。



■ 中間連結貸借対照表 (単位:億円)

	2019年3月31日現在	2019年9月30日現在
資産の部		
現金預け金	148,485	153,425
コールローン及び買入手形	1,779	660
買入金銭債権	2,812	2,535
特定取引資産	3,280	3,753
有価証券	53,878	50,528
貸出金	361,344	361,218
外国為替	1,156	1,133
リース債権及びリース投資資産	416	410
その他資産	10,883	10,595
有形固定資産	3,809	3,772
無形固定資産	405	440
退職給付に係る資産	193	346
繰延税金資産	289	266
支払承諾見返	3,945	3,902
貸倒引当金	△1,580	△1,567
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	591,100	591,423

	2019年3月31日現在	2019年9月30日現在
負債の部		
預金	511,086	516,713
譲渡性預金	11,953	9,676
コールマネー及び売渡手形	1,405	1,262
売現先勘定	50	50
債券貸借取引受入担保金	5,409	4,984
特定取引負債	1,209	1,354
借入金	7,526	7,355
外国為替	43	54
社債	4,597	4,360
信託勘定借	11,558	10,118
その他負債	7,461	6,742
賞与引当金	195	151
退職給付に係る負債	190	228
その他の引当金	435	403
繰延税金負債	276	236
再評価に係る繰延税金負債	193	192
支払承諾	3,945	3,902
負債の部合計	567,538	567,788
純資産の部		
資本金	504	504
利益剰余金	16,149	16,670
自己株式	△42	△135
株主資本合計	16,611	17,039
その他有価証券評価差額金	4,239	3,883
繰延ヘッジ損益	271	227
土地再評価差額金	422	420
為替換算調整勘定	△48	△44
退職給付に係る調整累計額	△386	△362
その他の包括利益累計額合計	4,498	4,124
新株予約権	3	3
非支配株主持分	2,448	2,467
純資産の部合計	23,561	23,634
負債及び純資産の部合計	591,100	591,423

■ 中間連結損益計算書 (単位:億円)

	自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
経常収益	4,350	4,309
資金運用収益	2,442	2,420
（うち貸出金利息）	(1,905)	(1,865)
（うち有価証券利息配当金）	(363)	(375)
信託報酬	96	93
役務取引等収益	1,210	1,185
特定取引収益	30	24
その他業務収益	248	351
その他経常収益	321	233
経常費用	3,117	3,183
資金調達費用	221	256
（うち預金利息）	(96)	(103)
役務取引等費用	307	298
特定取引費用	-	3
その他業務費用	131	202
営業経費	2,206	2,132
その他経常費用	251	290
経常利益	1,232	1,125

	自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
特別利益	398	9
固定資産処分益	0	9
負ののれん発生益	290	-
段階取得に係る差益	108	-
特別損失	24	12
固定資産処分損	4	5
減損損失	20	6
税金等調整前中間純利益	1,607	1,122
法人税、住民税及び事業税	239	210
法人税等調整額	102	95
法人税等合計	342	306
中間純利益	1,265	816
非支配株主に帰属する中間純利益	43	46
親会社株主に帰属する中間純利益	1,221	769

■ 中間連結株主資本等変動計算書 (単位:億円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額						新株 予約権	非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	504	-	16,149	△42	16,611	4,239	271	422	△48	△386	4,498	3	2,448	23,561
当中間期変動額														
剰余金の配当			△243		△243									△243
親会社株主に帰属する中間純利益			769		769									769
自己株式の取得				△100	△100									△100
自己株式の処分		△0		6	6									6
土地再評価差額金の取崩			1		1									1
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△6			△6									△6
利益剰余金から資本剰余金への振替		6	△6		-									-
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△356	△43	△1	3	23	△374	-	19	△355
当中間期変動額合計	-	-	520	△93	427	△356	△43	△1	3	23	△374	-	19	72
当中間期末残高	504	-	16,670	△135	17,039	3,883	227	420	△44	△362	4,124	3	2,467	23,634

自 2019年4月 1日
至 2019年9月30日

グループ銀行・銀行持株会社の概況

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

■りそな銀行

	2018年9月期	2019年9月期
業務粗利益	1,767	1,771
経費	△ 1,057	△ 1,044
実質業務純益 ^{*1}	710	726
与信費用	70	△ 72
中間純利益	521	489

	2018年9月末	2019年9月末
貸出金 [*]	196,093	197,791
預金・譲渡性預金	273,623	283,578

※貸出金は銀行勘定、信託勘定の合算です。

	2019年3月末	2019年9月末
自己資本の額	10,762	11,116
リスク・アセット等 ^{*2}	104,132	100,815
自己資本比率(%)	10.33	11.02

■関西みらいフィナンシャルグループ

	2018年9月期	2019年9月期
業務粗利益	698	668
経費	△ 562	△ 552
実質業務純益 ^{*1}	136	115
与信費用	△ 23	6
中間純利益	77	90

	2018年9月末	2019年9月末
貸出金	90,601	91,091
預金・譲渡性預金	110,810	108,111

	2019年3月末	2019年9月末
自己資本の額	4,620	4,592
リスク・アセット等 ^{*3}	67,274	55,536
自己資本比率(%)	6.86	8.26

■埼玉りそな銀行

	2018年9月期	2019年9月期
業務粗利益	631	603
経費	△ 377	△ 369
実質業務純益 ^{*1}	254	233
与信費用	5	△ 21
中間純利益	159	155

	2018年9月末	2019年9月末
貸出金	72,579	73,393
預金・譲渡性預金	135,785	138,926

	2019年3月末	2019年9月末
自己資本の額	3,386	3,536
リスク・アセット等 ^{*2}	27,447	25,864
自己資本比率(%)	12.33	13.67

	2018年9月期	2019年9月期
業務粗利益	3,098	3,043
経費	△ 1,996	△ 1,967
実質業務純益 ^{*1}	1,101	1,075
与信費用	52	△ 87
中間純利益	758	734

※1 実質業務純益は、業務粗利益(信託勘定に係る不良債権処理額を除く)から人件費等の経費を差し引いたものであり、銀行本来の業務活動による利益を表しております。

※2 リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、先進的内部格付手法(A-IRB)です。

※3 リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、基礎的内部格付手法(F-IRB)です。

株式の状況

2019年9月30日現在

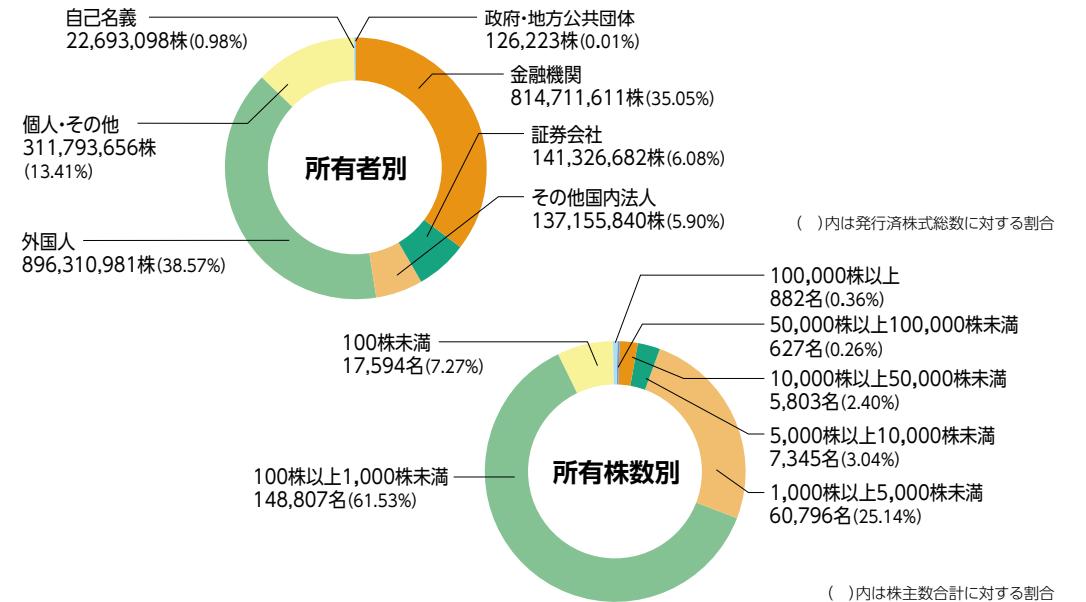
発行済株式総数 2,324,118,091株

株主数 241,854名

大株主 (上位10位)

株主の氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	131,395	5.70
第一生命保険株式会社	125,241	5.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	114,372	4.96
日本生命保険相互会社	65,488	2.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	60,628	2.63
AMUNDI GROUP	45,133	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	43,354	1.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	43,233	1.87
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	38,324	1.66
JP MORGAN CHASE BANK 385151	35,054	1.52

株式の分布状況



()内は発行済株式総数に対する割合

()内は株主数合計に対する割合

株式事務のご案内

決算期	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	基準日を3月31日とし、毎年6月に開催いたします。
配当金	基準日は3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日といたします。
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載の当社ホームページアドレス(決算公告も含む) https://www.resona-gr.co.jp/holdings/other/koukoku/
単元株式数	単元株式数は100株です。

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先		
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関する照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社	
	郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
	電話番号	☎0120-782-031	
	インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	
●上記以外のお手続き、ご照会等は、右記のいずれかの窓口にお問い合わせください。	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社 □座を開設されている証券会社にお問い合わせください。	
	特別口座*の場合	特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
		郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
		電話番号	☎0120-782-031

※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。

株主さまの個人情報のお取扱いについて

株式会社りそなホールディングス(以下、「当社」といいます)は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報(氏名・住所・保有株式数等)を利用させていただいております。

当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社(下記2.(1)記載の会社をいいます。以下同様です。)から各種便宜を供与するため

(3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため

(4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2 株主さまの個人情報の共同利用について

当社は、下記のとおり、上記1.記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第23条第5項第3号に基づく個人データの共同利用を行っております。なお、株主さまからの停止のご要請があった場合、以後の共同利用を停止いたしますので、停止をご希望される場合は、下記3.記載のご連絡先までご連絡ください。

(1) 共同利用者の範囲

- 株式会社りそなホールディングス(当社)
- 株式会社りそな銀行
- 株式会社埼玉りそな銀行
- 株式会社関西みらい銀行

(2) 共同利用する個人データの項目

- 氏名・住所
- 保有株式数
- 株主番号および登録時期に関する情報

(3) 共同利用者の利用目的

- 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社から各種便宜を供与するため
- 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため

(4) 個人データの管理責任者の名称

- 株式会社りそなホールディングス(当社)

3 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号 東京 03-6704-3111(代表)

大阪 06-6268-7400(代表)

受付時間 9:00~17:00(銀行休業日を除く)

なお、株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡をいただいた場合には、当社にご連絡をいただいた株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することはありませんので、再度ご連絡をいただく必要はございません。

りそなの株主優待



りそなの株主優待は 保有株式数に応じて優待対象銀行※の クラブポイントを進呈します。

りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行に個人名義の普通預金口座
およびポイントサービスへのご入会が必要です。また適用には所定の条件があります。

※りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行(みなと銀行は対象外です)

●ポイントサービス
(クラブポイント)とは?



りそなグループ※各銀行とのお取引でためたポイントをパートナー企業のいろいろなポイント
やマイルに交換できたり、手数料等の優遇を受けられる会費無料のポイントサービスです。

※りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行(みなと銀行は対象外です)

保有株式数	毎月
500株 未満	20 ポイント
500株 以上 4,000株 未満	100株 ごとに 5ポイント 加算
4,000株 以上	200 ポイント



郵送での2019年度の申込締切日は、**2019年12月31日(火)**(消印有効)です!

※2019年3月末時点の株式1単元(100株)以上を保有の株主さまが対象

毎年お申込みが必要です!
お済みでない方は
お急ぎください!

※Web(マイゲート)申込は2020年3月31日(火)まで可能です。

※対象の株主さまには2019年6月に株主優待券兼株主優待申込書を郵送しています。

株主優待専用ダイヤル(通話料無料)

0120-13-1036

受付時間:9:00~17:00
(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

スマホアプリでカンタン口座開設

株主優待を利用するために口座を開きたいけれど、、、

時間がなくて
なかなか店舗に
行けない

近くにりそなグループ
の店舗がない

そんな株主さまに、
うれしいサービス
できました!

運転免許証※をお持ちの方は
スマホアプリで口座開設ができます!

印鑑
不要



App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう



注意事項

- りそなスマート口座は、15歳以上の個人の方がお申込みいただけます。
- 口座開設(りそなTIMO)と同時に「マイゲート」(インターネットバンキング)「りそなクラブ」「りそなデビットカード(VISA)」をお申込みいただけます。
- りそなデビットカードは年会費無料です。りそなデビットカード(JMB)は「1,000円+消費税※」(初年度年会費無料)がかかります。2年目以降の年会費は、1年毎に期間中1回以上のショッピングがあった場合は無料となります。※消費税率は年会費引落日時点での税率に基づきます。
- 詳細は当社ホームページをご覧ください。
- スマホアプリで口座開設をした際は、手続完了後、別途、株主優待申込手続が必要となります。詳細は、当社ホームページにてご確認ください。

※りそなスマート口座の開設時にご登録いただけるご本人確認書類は運転免許証のみとなっております(2019年11月末現在)。その他の書類での口座開設をご希望の場合は、郵送もしくは店頭で承ります。

りそなグループでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象にセミナーを開催いたします。

第1部

マーケットセミナー
「国内外の景気動向とマーケット情報」

第2部

トップが語るこれからの「りそな」

第1部講師



黒瀬 浩一

りそな銀行 チーフ・マーケット・ストラテジスト(投資環境分析) 日経CNBC「夜エクスプレス」BSテレ東「日経プラス10」レギュラーコメンテーター等、各種情報メディアにて執筆・出演。

第2部コーディネーター



八塩 圭子氏

上智大学法学部卒。1993年、テレビ東京入社。報道局経済部で記者を務めた後、同局アナウンス室に異動。2004年MBA取得。現在は、東洋学園大学現代経営学部准教授。

【東京】

2020年2月15日(土) 13:30~16:00(開場 13:00)

会場: 東京国際フォーラム(ホールB7) 東京駅・有楽町駅

800名程度

第2部出演

りそなホールディングス 社長 東 和浩
りそな銀行

【埼玉】

2020年2月27日(木) 13:30~16:00(開場 13:00)

会場: 大宮ソニックシティ(小ホール) 大宮駅

500名程度

第2部出演

りそなホールディングス 社長 東 和浩
りそな銀行
埼玉りそな銀行 社長 池田 一義

【大阪】

2020年3月4日(水) 13:30~16:00(開場 13:00)

会場: ハービスホール(大ホール) 大阪駅・梅田駅

800名程度

第2部出演

りそなホールディングス 社長 東 和浩
りそな銀行
関西みらいフィナンシャルグループ 社長 菅 哲哉
関西みらい銀行

※関西みらいフィナンシャルグループとの共同開催となります。

お申込み
方法

同封のはがき「りそな株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、ご投函ください。

締 切

2019年12月20日(金) 消印有効

【ご注意ください】

- 応募者多数の場合は抽選となります。
- 当選された方には開催日の2週間前までに入場券をお送りいたします。電話等によるお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。
- 開催会場までの往復交通費は各自でご負担いただきます(駐車場のご用意はありません)。
- やむを得ない理由で、内容変更または中止になることがあります。

お問い合わせ先

りそな株主セミナー
専用フリーダイヤル

0120-22-3989

通話料
無料

受付期間: 2019年12月2日(月)~2020年3月4日(水)

受付時間: 9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

名 称 株式会社りそなホールディングス 証券コード 8308

(英文名称 Resona Holdings, Inc.)

所在地 東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話(03)6704-3111(代表)

大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話(06)6268-7400(代表)



りそなグループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。

